

自分をみつめ自分を磨く

みなさんは高校卒業後、どのような進路を選択するか考えていますか。入学したばかりなのに進路なんてと思うかもしれませんが、もうすでに次のステップは始まっています。中学生のときには、将来を描くということはなかなか難しかったと思いますが、高校の3年間は、自分がどのような大人になり、どのように人生を送っていくかを考え選択するという、将来設計につながる重要な時期です。今までは義務教育を受けている期間でしたが、これからは、保護者や家族から経済的・精神的あるいは物理的に自立することにより、社会人としての自立を果たしていくことを考えていかなければなりません。

高校卒業時にどのような進路を選択するにしても、今大切なのは、まず自分をよくみつめ、そして自分を磨くことです。自分をよく見つめ、自分は何をすることが好きか、何に興味関心があるか、何をしたいか、何が得意か、弱点は何か、弱点を減らすにはどうしたらよいか等、自分をよく分析してみましょう。自分のことをよく知ることにより、何をやりたいのか、何をすべきかがおのずと見えてくるはずです。そしてそれは、将来進路選択で迷った時のきっと良い指針となるでしょう。

次に、自分を磨くということ。磨きをかけるためには何をしたらよいでしょう。まずは学びましょう。学校での学習はもちろんのこと、部活動や読書活動・社会体験、芸術の鑑賞などをおして、知識と心を豊かにしましょう。また、学校生活をおして社会人としての基本的なマナー、例えば挨拶、服装、言葉づかい、時間を守る、他の人と協力して何かを行うなど、基本的な態度を身につけましょう。いずれにしても自ら意欲を持ち、意識的に取り組むことが重要です。今から自分磨きに取り組むことが、将来における進路選択の幅の拡大に必ずつながるはずです。

進路先を安直に考えず、3年後、一人ひとりが自らのめざす進路目的を達成し、学校を巣立っていくことが私達の願いです。今から、進路を見据えた生活を始めましょう。

千葉県立松戸向陽高等学校長 関口 美栄子